



三条の風

八戸市立三条中学校
学校だより第10号
令和4年 3月12日



祝 卒業 ~「進取の精神をもって羽ばたけ」~

安田 眞理子

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。三年前、まだあどけなかつた皆さんも、一人一人が個性を大切にしながら立派に成長しました。ぶかぶかだった制服も今では小さくなりました。時の流れは早いものですね。

本日の卒業証書授与式では、二つのこととお話しました。

「夢を叶える」

一つ目は、「夢を叶える」ということについてです。「自分の夢を実現する」ということは、「毎日、地道にコツコツと、今ある現実に向き合って、一歩ずつ努力を積み重ねることしかない。本当に地味で苦しいことがつきものである。」ということです。卒業後も「美しき夢 描かまし三条生」「美しき花 咲かせまし三条生」「美しき歌 湧かせまし三条生」と歌われる校歌のように、一人一人がそれぞれの夢の花を咲かせ、希望に湧いた人生を歩むことを願っています。本校の校歌の「美しき」は「うるわしき」と読みます。体育館には、前衆議院議長で、本校の同窓会長である大島理森氏直筆の「美しき夢 美しき花 美しき歌」の書が掲げられています。

「視野を広げる」 ~群盲 象を評す~

二つ目は、「視野を広げる」ということについてです。「群盲象を評す」(ぐんもう ぞうをひょうす)ということわざがあります。私が中学生のときに恩師から聞いて心に残っていることわざの一つです。

数人の目が見えない方々が、それぞれ象の鼻や牙など別々の一部分だけを触り感想を語り合う。

触った部位により感想が異なり、それぞれ自分が正しいと主張して対立が深まる。



この寓話を元に彫られた壁絵。タイ北東部

しかし何らかの理由でそれが同じ物の別の部分であると気づき、対立が解消するというインド発祥の寓話です。これは、「木を見て森を見ず」と同様の意味で用いられることがありますが、「物事や人物の一部、ないしは一面だけを理解して、すべて理解したと錯覚してしまうこと」の例えとして用いられます。

皆さんには、視野を広げ、自己中心的な考えではなく、様々な立場や角度から物事を判断できる力を身に付けてほしいと思います。将来のことを考えるにあたっては、できる限り「社会とのつながり」を考え、その中で自分を見つめる姿勢をもってほしいと思います。どうぞ、視野を広げてください。

ジャイナ教の伝承では、6人の盲人が、ゾウに触れることで、それが何だと思われ問われる形になっている。足を触った盲人は「柱のようです」と答えた。尾を触った盲人は「綱のようです」と答えた。鼻を触った盲人は「木の枝のようです」と答えた。耳を触った盲人は「扇のようです」と答えた。腹を触った盲人は「壁のようです」と答えた。牙を触った盲人は「パイプのようです」と答えた。それを聞いた王は答えた。「あなた方は皆、正しい。あなた方の話が食い違っているのは、あなた方がゾウの異なる部分を触っているからです。ゾウは、あなた方の言う特徴を、全て備えているのです」と。この話の教訓は、同じ真実でも表現が異なる場合もあることであり、異なる信念を持つ者たちが互いを尊重して共存するための原則を示している。

出典：フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

受賞の記録

ここまで優秀な成績を残し、入賞した生徒をお知らせします。(裏面にも掲載しています。)

■第46回青森県アンサンブルコンテスト第43回八戸地区大会
金管六重奏銅賞：田中真穂 佐々木美和子 小田ひより 山内心 上村美緒 竹原穂乃実
木管七重奏銀賞：大島優佳 馬渡優奈 深貝奈永 熊谷紀乃 高松紗希 山本佳朋 前田詩歩

■令和3年度八戸市中学校剣道安協大会 女子団体 第3位
個人優勝 似鳥琉貴 個人5位 秋元心晴

■令和3年度八戸市中学校バレーボール霜月大会
女子の部 第1位 最優秀選手賞 松橋美空 優秀選手賞 山形彩羽

■令和3年度八戸市中学校バレーボール新春大会 女子の部 第3位
優秀選手賞 松橋美空

■令和3年度八戸市中学校安協インドアソフトテニス選手権大会
男子個人第5位 坂本貴宏 高柳快斗 女子個人第5位 清川寧々 小笠原春陽

■第50回 青森県中学校新人柔道大会
女子個人44kg級第2位 檜山叶恵

■第39回八戸市柔道協会旗並びに八戸中央ライオンズクラブ杯争奪市内中学校柔道大会
男子団体1年生の部 2位 竹岸拓海 佐々木広夢 照井優空 大村瑛音
女子団体1年生の部 3位 檜山叶恵 蝦名優心
女子団体ベストの部 3位 檜山叶恵 蛭名優心
女子個人52kg級 2位 檜山叶恵

■令和3年度 歯科保健ポスターコンクール ポスター 銀賞 平澤未唯 八幡彩唯

■令和3年度 看護の日・看護週間事業「看護の標語」 佳作 峯絃咲希

■令和3年度八戸市中学校生徒理科研究発表会
物理分野 最優秀賞 西塚泰惺 物理分野 優良賞 中田悠希
物理分野 優良賞 田島結愛 物理分野 優良賞 鳥谷部莉玖
化学分野A 優秀賞 畠山愛菜 化学分野A 優良賞 田中真穂
化学分野B 優良賞 鶴川心楓 生物地学環境分野 優秀賞 横田賢汰郎
生物地学環境分野 優良賞 馬渡優奈
生物地学環境分野 努力賞 小向穂花
生物地学環境分野 努力賞 市澤初月

■第50回八戸市児童生徒発明くふう展
VISITはちのへ理事長賞 横田賢汰郎 銅賞 蛭名皓翔 奨励賞 葛西怜太郎

■第63回青森県発明くふう展
奨励賞 横田賢汰郎

■令和3年度「花と緑」作文コンクール
八戸市商工会議所会頭賞 大島優佳 八戸菊花会会長賞 太田知穂美
八戸造園建設業協会理事長賞 葛西怜太郎

■第12回デーリー東北新聞感想文コンクール 優秀賞 横田賢汰郎

■第59回中学生作文コンクール 佳作 中里咲来

■令和3年度 第64回市内児童生徒納税貯蓄作品コンクール

作文の部 入選 熊谷紀乃

作文の部 佳作 磯嶋佑

作文の部 佳作 有澤彩

作文の部 佳作 市澤初月

ポスターの部 八戸市長賞 野崎美里

ポスターの部 八戸市納税署長賞 北田昊

ポスターの部 八戸地域県民局県税部長賞 高木美桜

ポスターの部 八戸市納税貯蓄組合連合会長賞 蛭名優心

■令和3年度 青森県納税貯蓄作品コンクール

ポスターの部 金賞 野崎美里 銅賞 北田昊

■令和3年度 密漁防止絵画・ポスターコンクール ポスター 優秀賞 藤丸里空

■第44回全国中学生人権作文コンテスト 作文の部 優良賞 上野和奏

■令和3年度 土砂災害防止ポスターコンクール ポスター 優秀賞 北田昊

■第71回社会を明るくする運動作文コンテスト 県推進委員会委員長(県知事)賞 上野和奏

■東北電力第47回中学生作文コンクール 佳作 中野愛絆

■少年防犯作文コンクール 努力賞 東野愛依

■第74回市内児童生徒お話弁論大会 優秀賞 高木美桜

■文集「はちのへ」

読書感想文の部 入選 三浦杏紗

詩の部 入選 矢ノ目愛結

詩の部 入選 高畑龍聖

短歌の部 推薦 市澤初月

短歌の部 入選 佐藤彩乃

短歌の部 入選 引木優介

短歌の部 入選 大久保瑠夏

短歌の部 入選 馬渡もえ

短歌の部 入選 竹原穂乃実

短歌の部 入選 上野紗奈

短歌の部 入選 坂本拓郎

短歌の部 入選 田口凜

■第35回青森県中学校選抜美術展

平面の部 特選 野崎美里 立体の部 特選 鶴川心楓

平面の部 入選 柴崎沙絵 立体の部 入選 澤目凜乃

平面の部 入選 小向神樂 平面の部 入選 戸来結愛

立体の部 入選 野崎美里 平面の部 入選 小笠原琉衣

平面の部 入選 照井羽優 立体の部 入選 小笠原琉衣

■第58回八戸市中学校生徒美術展

平面の部 推薦 野崎美里 立体の部 推薦 鶴川心楓

平面の部 特選 柴崎沙絵 立体の部 特選 澤目凜乃

平面の部 特選 小向神樂 平面の部 特選 戸来結愛

立体の部 特選 野崎美里 平面の部 特選 小笠原琉衣

平面の部 特選 照井羽優 立体の部 特選 小笠原琉衣

平面の部 入選 上野凜 平面の部 入選 田代灯里

立体の部 入選 齋藤レイ 立体の部 入選 佐々木心音

立体の部 入選 真手一夏 立体の部 入選 河村美玖

平面の部 入選 田口凜 平面の部 入選 中里咲来

立体の部 入選 小田正太郎 立体の部 入選 須藤愛純

■第8回こども絵画コンクール

中学生絵画 最優秀賞 向谷地陽樹 中学生絵画 優秀賞 小向神樂

中学生絵画 入選 海住漣花 中学生絵画 入選 北田昊

中学生絵画 佳作 三浦杏紗

■特別国民体育大会冬季大会

スケート・アイスホッケー競技 シンボルマークの部 優秀賞 奥山 夏実

■三条中学校としての受賞

◎三条中学校 JUMP チームの少年非行防止に向けた活動が認められ、八戸警察署から感謝状をいただきました。

◎全国中学生人権作文コンテストの実施に際して、中学生の人権意識の高揚に尽力したとの功績が認められ、本校が法務省人権擁護局長、全国人権擁護委員連合会会長から感謝状をいただきました。

◎デーリー東北主催の第8回こども絵画コンクールへの応募から、本校が優秀学校賞に選出されました。

3月の主な行事予定

【3月】	1日(火)	全校朝会	18日(金)	県立高校合格発表
	2日(水)	校務分掌会議	〃	生徒振替休業日(3/12分)
	4日(金)	1年参観日(希望式)	21日(月)	春分の日
	8日(火)	県立高校入試日	22日(火)	新入生1日入学
	11日(金)	卒業式予行・準備	23日(水)	県立高校再募集入試日
	12日(土)	卒業証書授与式	24日(木)	県立高校再募集合格発表
	15日(火)	2年参観日(立志式)	25日(金)	修了式 離任式
	16日(水)	県立高校追検査日	26日(土)	学年末休業～31日
	〃	職員会議		

卒業生の保護者の皆様、本日はお子様の御卒業、誠におめでとうございます。中学校の三年間は、悩みも多く、多感な時期で、心配の種は尽きなかったことと思います。けれども、子どもたちは様々な困難を乗り越え、立派に成長しました。これまでの三年間、本校の教育活動に深い御理解と御協力を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。